

氏名	星 文彦	部署	理学療法学科	職名	教授
研究分野	中枢神経障害理学療法、運動学、姿勢制御				
学位	博士(障害科学)、教育学修士				
学歴	1977年 東京都立府中リハビリテーション学院、1988年明星大学人文学部心理教育学科、1994年北海道教育大学大学院修士課程教育学研究科、2003年東北大学大学院医学研究科後期課程障害科学専攻				
経歴	1977年東京都立府中病院・リハビリテーション科・主事、1980年東北大学医学部附属病院鳴子分院・理学療法部・文部技官、1983年北海道大学医療技術短期大学部・理学療法学科・助手、1992年医療法人勉仁会東小樽病院・理学診療科・科長、1992年北海道大学医療技術短期大学部・理学療法学科・非常勤講師(1994年3月まで)、1994年北海道大学医療技術短期大学部・理学療法学科・助手、1997年北海道大学医療技術短期大学部・理学療法学科・助教授、1999年東北文化学園大学医療福祉学部リハビリテーション学科・教授、2003年東北文化学園大学大学院健康社会システム研究科健康福祉専攻・教授、2007年埼玉県立大学保健医療福祉学部理学療法学科・教授、2007年東北文化学園大学医療福祉学部リハビリテーション学科・非常勤講師(2011年まで) 2009年埼玉県立大学大学院保健医療福祉学研究科保健医療福祉学専攻・教授、2011年埼玉県立大学保健医療福祉学部理学療法学科・学科長、2015年埼玉県立大学 地域産学連携センター・所長、2015年埼玉県立大学大学院保健医療福祉学研究科保健医療福祉学専攻(後期課程)・教授				
所属学会(役職)	日本理学療法士学会(第51回学術大会大会長)、日本リハビリテーション医学会、JSEK(評議員)、ISEK、専門リハビリテーション研究会(監事)、全国大学理学療法教育研究会(評議員)				

【2016年度実績】

1. 研究業績					
	著作・論文・学会発表等の名称	単著・共著の別	(1)発行所、全ページ数 (2)雑誌名、巻(号)、開始-終了ページ (3)学会名、開催都市	(1)(2)著者、編者名 (3)発表者(発表者は○印)	発行・発表年月
(1) 著作					
1	PT・OTのための測定評価5,「バランス評価」—観察と計測—	共著/編集	三輪書店	星文彦、伊藤俊一、隈元庸夫	2016年
2					
3					
(2) 論文					
1	歩行中の方向転換動作における予期的姿勢制御に関わるステップ戦略の検討	共著	理学療法—臨床・研究・教育、23:72—76,	中村高仁、菊本東陽、星 文彦	2016
2					
3					
(3) 学会発表					
1	分科学会への移行とこれからの展望～理学療法学会のアイデンティティの視点から～	単著	第51回日本理学療法学会学術大会、札幌	○星 文彦	2016、5
2	徒手筋力計を使用した下肢・体幹筋力測定	共著	第51回日本理学療法学会学術大会、札幌	○菊本東陽、田口孝行、星 文彦	2016、5
3	脳卒中後遺症者における位置覚の経時的変化に影響を及ぼす要因について	共著	第51回日本理学療法学会学術大会、札幌	○村田 佳太、塙大樹、西原賢、星 文彦	2016、5
4	不安定板上座位での体幹セグメント間協調性の定量化の試み	共著	第51回日本理学療法学会学術大会、札幌	○春山幸志郎、笠井健治、牧野京平、星文彦、西原賢	2016、5
5	健常人における椅子からの立ち上がり起立動作時の筋シナジー	共著	第51回日本理学療法学会学術大会、札幌	○塙大樹、久保田圭祐、国分貴徳、丸毛達也、村田佳太、星文彦	2016、5
6	パーキンソン病の前傾姿勢に対する認知負荷の影響	共著	第51回日本理学療法学会学術大会、札幌	○笠井健治、春山幸志郎、牧野京平、西原賢、星文彦	2016、5
7	外乱刺激応答時の足底内在筋活動に関する研究	共著	第51回日本理学療法学会学術大会、札幌	○牧野京平、西原賢、笠井健治、春山幸志郎、星文彦	2016、5
8	脳卒中片麻痺者における直線歩行と方向転換動作の変動性	共著	第51回日本理学療法学会学術大会、札幌	○武田尊徳、中村高仁、小野田翔太、松岡正悟、成塚直倫、瀬川和彦、宮原拓也、星 文彦	2016、5

9	脳卒中片麻痺患者における方向転換時の予期的姿勢制御に伴うステップ戦略の分析	共著	第51回日本理学療法学術大会、札幌	○中村 高仁, 武田 尊徳, 星 文彦, 菊本 東陽	2016、5
10	Muscle synergies underlying sit-to-stand tasks and their relationship with kinematic characteristics	共著	XXI ISEK Congress, Chicago Illinois	○H. Hanawa, K. Kubo, T. Kokubun, T. Marumo, K. Murata, F. Hoshi	2016 July
11	The strategies on turning while walking after stroke.	共著	XXI ISEK Congress, Chicago Illinois	○T. Nakamura, F. Hoshi	2016 July
(4) その他					
1	該当なし				
2					
3					
2. 競争的資金等の研究					
	競争的資金等の名称		研究名、研究代表者・研究分担者の別		研究期間
1	科学研究費補助金研究(基礎研究(C)(一般))		「歩行中の方向転換におけるプロアクティブ姿勢制御戦略障害に関する基礎的研究」 研究代表者: 星 文彦		平成26年度から平成28年度
2					
3					
3. 教育業績					
	講義・演習・実習・論文指導等の名称	期間	概要(教育内容・方法等において工夫した点)		
(1) 講義					
1	理学療法学概論	4月～6月	理学療法について、障害の捉え方、定義、実践の紹介しながら、理解を深める様に教授した。手法として、映画鑑賞、KJ法によるグループワーク、レポート課題なども用いた。		
2	運動学入門	6月～7月	形態計測、関節可動域計測、姿勢の描写、動作観察、ハンドリングについて演習と交え教授した。		
3	神経障害理学療法学	後期	中枢神経疾患に対する理学療法の一般的理論の変遷と脳卒中回復期及び失調症に対するアプローチの理論を教授した。		
4	発達障害理学療法学	前期	小児疾患に対する理学療法における発達のアプローチの理論を教授した。		
5	運動制御と運動学習	11月～12月	運動制御理論、特に姿勢制御について研究文献抄読を通して議論した。		
6	社会構想論	2月	大学の地域産学連携センターの立場から、社会貢献事業について解説した。		
7	緩和ケア総論	10月	緩和ケアにおけるリハビリテーションの概念について解説した。		
8	運動解析学特論	前期	運動解析学の理論を運動学、運動力学、生体活動の観点から解説をした。		
9	理学療法症候障害論	前期	疾病の症候学に基づく障害構造についてシステム論の視点から解説した。		
(2) 演習					
1	神経障害理学療法学実践テュトリアル	前期	脳卒中に関するペーパーptで評価と治療についてグループワークを行った。		
2	発達障害理学療法学実践テュトリアル	後期	小児疾患(脳性麻痺、筋ジストロフィー)に関するペーパーptで評価と治療についてグループワークを行った。		
3	リハビリテーション学演習	後期	学生の研究テーマに沿って、運動解析学の手法を解説演習をした。		
4	理学療法症候障害論演習	前期	疾病の症候学と機能障害の関係を基盤に文献抄読を通して理学療法評価学の理解を深めた。		
(3) 実習					
1	神経診断学実習	後期	神経症候学に基づき、理学療法に関連する検査について運動麻痺や姿勢障害、不随運動等についてグループワークと実習を通して理解を深めた。		
2	神経障害理学療法学実習	前期	脳卒中及び失調症に対する運動療法の実際を動画教材の視聴及び学生間で実習を行った。		
3	発達障害理学療法学実習	前期	脳性麻痺に対する運動療法の実際を動画教材の視聴及び学生間で実習を行った。		
4	臨床実習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ	前期後期	検査測定実習について指導した。理学療法評価について、施設訪問を通して指導した。理学療法の総合的実践を病院へ訪問を通して指導した。		
5	ヒューマン体験実習	後期	2グループ担当		

(4) 論文指導				
1	学部卒業論文	2016.4-2016.12	3名	
2	修士・前期課程	2016.4-2016.3	主指導:2名	
3	博士課程	2016.4-2016.3	副指導:1名	
(5) その他				
1	該当なし			
2				
3				
4. 社会貢献活動				
(1) 講演会、研修会等の講師				
	講演会、研修会等の名称	主催	講演、研修等のテーマ	開催年月
1	一般公開講座	放送大学埼玉学習センター	転ばぬ先の基礎知識～立位のバランスの生涯発達～	2016年1月16日
2	第13回埼玉北部地域技術交流会 講演会「企業と大学のコラボ事例発表」	北部地域技術交流会	「インソール装着効果の検証」	2016年11月10日
3	特定講座	医療・福祉・環境経営支援機構「埼玉」	生涯発達の視点からの立位バランスの重要性と転倒予防	2016年9月6日
4	平成28年度臨床実習指導者講習会	埼玉県立大学理学療法学科	バランスとハンドリング	2016年9月1日
(2) 国、自治体、財団法人等における委員等				
	国、自治体、財団法人等の名称	委員等の名称	任期	
1	越谷市生涯学習審議会	副会長	2019/6/30まで	
2	日本理学療法士協会	第51回日本理学療法学会学術大会長	2017/3/1まで	
3				
(3) ジャーナリズムでの発言				
	メディア等の名称	内容	年月	
1	該当なし			
2				
3				
5. 学内運営(委員会委員)				
1	地域産学連携委員会			
2	教育研究審議会			
3	研究推進委員会			
4	教員人事委員会			
6. 受賞(研究、教育、社会貢献活動に関するもの)				
	受賞名	主催	受賞年月	
1	該当なし			
7. 特許の保有状況				
	特許名	特許番号	登録年月	
1	該当なし			
8. 特記事項				
	該当なし			